

自由に参加できます！

第53回明大昆虫セミナー

ブドウの主要害虫“クビアカスカシバ”の生態と防除

内田 一秀 氏

(山梨県果樹試験場 環境部 病害虫科)

日時：2018年12月6日（木）17:10～18:40頃

会場：明治大学 生田キャンパス 中央校舎0310教室

“クビアカスカシバ”って昆虫の名前を聞いたことはありますか？

ガの仲間（チョウ目）ですが成虫はハチに擬態し、見た目はいわゆる「蛾」だとは思えません。この幼虫がブドウの枝や幹を食害するため、生産者にとって大切な樹が枯れたり、生産量が大きく減少したりと全国のブドウ産地で問題となっています。西暦2000年頃から被害の報告が急増し、注目を集めているにも関わらず、その生態や防除方法などには多くの謎が残されています。

今回のセミナーでは、そんな“クビアカスカシバ”的基礎生態や防除に関する研究について紹介して頂くとともに、明治大学農学部の先輩でもある演者から、山梨県職員として仕事をすることの面白さなども伝えて頂きますので、奮ってご参集下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享